

今後の指導について

これらの調査結果は、単に調査対象の5年生だけのことではなく、本校全学年児童の実態と捉えています。そこで、今まで成果の上昇した指導法は継続し、課題となったものについては指導の改善を計画しております。以下にお示しします視点で、今後指導に取り組んでいきます。

また、今年度の学校研究主題でもあります「人とのかかわりを大切にしたい授業づくり」を更に充実させるべく、全教職員が取り組みを進めます。

「考える力」と「表現力」を育てます

国語

「聞くこと」は、よくできていました。
「書くこと」は、よくできていました。
「読むこと」は、読み取りは概ねできていましたが、場面の移り変わりによる心情の変化や情景を、叙述を基にしながら読むことに課題があります。
「言語事項」は、概ねできていましたが、ローマ字や既習漢字の中に定着が不十分なものがあります。主語述語の関係や辞書の引き方についての理解も課題があります。

今後の指導の重点

- ・ 学習の中で、「読むこと」を重点にした授業改善を行います。登場人物の気持ちをとらえさせる際、文章全体を広く読ませ、根拠となる表現に着目して読ませる指導を行います。
- ・ 辞書を使ったり、新出漢字の入った熟語での短文作りなどをしたりしながら、児童の語彙を増やします。
- ・ 「朝の読書活動」の継続と図書館の積極的な利用により読書活動の充実を図っていきます。

算数

「数と計算」は、概ねよくできていましたが、数の相対的な大きさ(1000は100が10こ)の理解に課題があります。
「量と測定」は、重さや面積の単位の換算や角の測定に課題があります。
「図形」では、概ねよくできていましたが、図形の定義を使った問題などに課題があります。
「数量関係」では、概ねよくできていました。

今後の指導の重点

- ・ 問題文を正しく読み取る力をつけ、体験的な活動や具体的な操作活動により導き出した定義や公式の定着を図ります。
- ・ 計算技能などについては、授業の中に計算の習熟をはかる時間をとり、繰り返し継続して学習を進めます。また、家庭学習も利用し、前学年での学習内容も含め繰り返し学習します。
- ・ 既習学習や身近な生活体験の内容を基にした課題解決的な学習を積極的に行かせます。

生活に関わること

学校で取り組むこと

じっくり考える時間・学び合いの時間をとり、課題解決をさせます。
話し合い活動(ペアトークやグループトーク、全体発表)の場において言語活動の充実を図り、表現力をつけます。
大竹小中学校合同での「宿題がんばり週間」「ノーテレビ・ノーゲームデー」を実施し、家庭学習の定着を図ります。

ご家庭でご協力いただきたいこと

基本的な生活習慣を定着しましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させ、基本的な生活習慣を身につけましょう。

家庭学習の習慣をつけましょう。

各学年で設定している「家庭学習時間」を目安に、勉強する時間と場所を決めて実行させましょう。また、「ノーテレビ・ノーゲームの日」を実践しましょう。特に長時間のテレビ視聴やゲームは早急な改善が望まれます。

読書の習慣をつけましょう。

テレビやゲームの時間を読書時間に振り替えさせましょう。昨年度に比べ読書量が増えています。今後も継続的に取組みを進めてください。

人とのかかわりあいを大切にしたい授業づくり
～表現したくなる場の工夫を通して～

学校教育活動の全ての場面でを行います。

- ・ 自分の発表に活かすように効く
- ・ ねらいをもって積極的に発表する

自他を大切にできる児童の育成

他者の思いを共感的に受けとめる力
自分の思いを、自信をもって表現する力